

英語による講義 [DNA damage and DNA repair] の感想 [2007年度入学生命科学科2年生]

永田君

英語の授業は初めてであるということもあり理解できるところが少なく自分の英語力の無さを痛感しました。将来世界で活躍するためにも英語の学習をもっともっとしていかなければならないと深く心に思いました。

中島君

英語で講義を受けることで、思っていたよりも英語がわかったという自信と、一方で、わからないことが多すぎることから英語力を上げなければならないという気持ちで、良い刺激になったと思います。

森さん

今回、初めて英語によって講義を受けました。これまではこんなに長時間英語を聞き続ける経験はなかったので、とても新鮮で興味深く感じました。しかし、それと同時に講義を受けて自分の英語力不足を実感しました。易しい英語でゆっくりと話してくださっていたため、一単語一単語でわかる部分もありましたが、何を話しているのかさえわからない部分がほとんどでした。これから英語のリスニングとスピーキングの力を高める努力をしなければならぬと実感しました。

知識さん

ミラー先生は、優しく噛み砕いて説明してくださっているということは分かったのですが、スピードと内容についていけず、あまり理解出来ませんでした。最初の導入部分ではなんとなく内容が分かったような気がしたのですが、だんだんついていけなくなりました。でも、英語で講義を受けるという難しさが分かったので、英語の勉強をもっとしなければと感じました。リスニング力などを強化して、最終的にはスラスラと理解できるようになりたいです。また、学生の中には英語で質疑応答している人がいて、自分をもっと頑張らなければと刺激を受けました。

西田君

自分の英語力不足と、講義内容についての勉強不足のため、十分に理解したとは言い難いのですが、先生がわかりやすく説明しようとしていたので、かろうじておおまかな内容はつかめたと思います。ただ、やはりネイティブの方の話す英語のスピードについていけないことに気が付きました。また、やはり専門教育の勉強を、しっかりとやる必要を感じました。自分を見直す良い機会になったと思います。

白根君

専門科目では初めての英語での講義だったのですが、先生がわかりやすい英語をゆっくりと話されていたので、とても聞きとりやすかったです。内容については、まだその分野についてあまり知らなかったもので、わかる所とわからない所がありました。早いうちからこのような貴重な体験ができ、とてもよかったです。